

自由課題:緩和ケアチームの新規診療時と1週間後の症状評価尺度ESAS-r - J評価の実施率
(平成29年7月1日～12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
64 近畿中央胸部疾患センター	<p>H29年4月中旬より新規依頼患者の初回診療時と1週間後(±3日)にESAS評価を行い実施率を現在56% 60%以上を目指す (ESAS実施率 = 1週間後実施件数 ÷ 初回実施件数 × 100)</p>	<p>PCTメンバーへの周知 ESAS評価予定日をラウンド時に使用する患者表へ記載 朝のPCTカンファレンス時にその日のESAS評価者を担当者で共有する</p>	<p>1週間後の症状評価尺度ESAS-r - J評価の実施率 58%で目標の60%には未達であった。 (平成29年7月1日～12月末日) PCTの日々のカンファレンスでESAS評価について協力依頼を継続した。 患者表にESAS評価日を記載し、可視化してタイムリーに評価忘れしないようにした。 朝のPCTカンファレンスで評価を行う担当者を確認するように努めた。 総括:実施率が予定より未達の分析として病状の進行悪化、早期退院、が主因である。</p>	<p>病状進行悪化は評価者要因でないので、評価タイミングを失わないように担当者との情報共有と行動確認をしていく。PSの良い患者にはあらかじめ配布しておく。</p>